

石狩市厚田区聚富・望来と石狩市八幡町高岡八ノ沢及び当別町西当別風力発電事業に反対する請願書

要旨

私たちの暮らしている地域に(仮称)石狩市厚田区聚富望来風力発電事業(4,000~6,000KW・最大8基)、(仮称)石狩聚富風力発電事業(3,000~6,000KW・最大22基)、(仮称)八ノ沢風力発電事業(3,000KW・7基)、(仮称)石狩郡当別町西当別風力発電事業(4,000KW・最大12基)の巨大風力発電事業が進められています。

私たちの住んでいる地域はススキ、ヨシの原野と農耕地が広がり奥に多くの山林があります。キタキツネ、エゾタヌキ、エゾシカ、エゾリス、シマリス、エゾユキウサギ、多種のネズミなどの動物とニホンマムシ、アオダイショウ、ニホンアマガエル、などが生息しています。また季節ごとにウグイス、アカゲラ、ヤマゲラ、ムクドリ、キジバト、アオバト、ヨタカ、オオジシギ(八の沢でも営巣)、コハクチョウ、オオワシ、オジロワシ、クマタカ、ノスリなど、40種類以上の野鳥が確認されています。さらに、年2回のトンボの大発生など自然環境が豊かな場所です。この環境を守り続け次世代まで残すべきです。

私たちは原発の「安全神話」の崩壊を経験しており再生可能エネルギーが必要ですが、風力発電が全て安全とはなりません。

理由

- 1:大型風車の低周波の健康被害(めまい、頭痛、耳の圧迫感)と騒音障害(睡眠障害)が心配です。陸上も海上も風車だらけにしてよいのですか? この地に安心して住み続けたいのです。
- 2:貴重な財産である生態系のバランスを壊すことは許せません。
- 3:オーストラリアから子育てにやって来る準絶滅危惧種オオジシギ(ラムサール条約)、天然記念物のオオワシ、オジロワシなど野鳥のバードストライク及びコウモリのバットストライクは許すことができません。
- 4:日中に限らず、日の出、月の出、星夜空の景観は市民共有の財産として大型風車で壊さないで下さい。

尚、「要請」署名簿は宛先が違うものの請願書と全く同じ趣旨であり賛同して署名した者の総数は1,126名となっております。

請願事項

石狩市厚田区聚富・望来と石狩市八幡町高岡八ノ沢及び当別町西当別風力発電事業に反対すること。

令和3年9月10日

北海道議会議長 小 畑 保 則 様

厚田区有志

石狩市厚田区聚富211番地29	福岡幸一
同上	福岡順子
石狩市厚田区望来66番地1	本吉春子
札幌市中央区2条西27丁目1-9	
一般社団法人 北海道統合医療協議会 代表理事	西谷雅史
稚内市はまなす2丁7番18号	
風力発電の真実を知る会 代表	佐々木邦夫
石狩市花川北1条5丁目307	
石狩湾岸の風力発電を考える石狩市民の会 代表	安田秀子